

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年12月 日

施設名	県立甫喜ヶ峰森林公園	所管課	林業環境政策課
-----	------------	-----	---------

1 施設の概要

指定管理者名	一般社団法人 高知県山林協会	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町平山		
事業内容	(1) 森林公園における行為の許可等及び森林学習展示館の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 森林公園の施設、設備、機械器具、立木等の維持管理及び補修に関する業務 (4) 森林公園の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務 ※『県民に対して、森林に関する知識の普及を図り、もって森林愛護の思想を高める』 (高知県立甫喜ヶ峰森林公園の設置及び管理に関する条例第1条)		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 森林公園の面積：102ha 森林学習展示館(466.56㎡、延床面積400.0㎡)、研修棟(ホッキーの館、172㎡)、遊歩道 (L=7,500m、車椅子用1,764m)、キャンプ場、林道(甫喜ヶ峰線3,232m、御幸線859m)、風力 発電施設(公営企業局) 利用時間：午前9:00から午後4:30まで 休園日：12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：行商等及び興行等 使用面積1㎡当たり日額20円		
職員体制	常勤職員：2人	嘱託員：2人	合計：4人

2 収支の状況

単位：千円

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(予算)
収入	県支出金	17,048	17,577	20,100
	使用料・手数料	168	377	486
	その他		97	100
	収入計 (a)	17,216	18,051	20,686
支出	事業費	294	629	975
	管理運営費	2,873	3,382	2,991
	人件費	16,244	16,769	16,720
	支出計 (b)	19,411	20,780	20,686
収支差額 (a)－(b)		-2,195	-2,729	-

3 利用状況

	平成25年度(実績)	平成26年度(実績)	平成27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	49,845	50,044	50,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況 ・展示館内に常時アンケート用紙を設置して広く利用者の意見等を得るようにし、またイベント時には参加者に対しアンケートを実施している。 ・利用者の意見や問い合わせ等に対応できるように、施設ホームページにメール窓口等を設置している。		
	○ その他 ・ヒヤリング及びアンケート結果等の利用者意見を集計・分析し、課題の抽出及び対応策の検討などを行い、管理運営の改善とサービスの向上に努めている。		
③その他特記事項			

4 平成26年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた職員体制の中で、公園の管理運営を適切かつ効率的に行っている。また、地元住民や団体、ボランティア等との連携も図り、利用者サービスの向上に努めている。 ・施設内の徹底した清掃・整備だけでなく、利用者の安全確保のための心がけ、取り組みができています。 ・地震等を想定した緊急時対応体制の確立や訓練の実施など危機管理がなされている。 ・森林公園としての魅力ある公園づくりの検討が望まれる。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校対応として体系的な森林環境学習プログラムによる支援を行っている。 ・トレイルランニング等発展性のある事業を展開することで、これまでにない利用者層の取り込みを図っている。 ・森林公園の特長を活かした目玉となる事業づくりが望まれる。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の悪天候により入園者数の大幅な落ち込みがあったにも関わらず、新しい事業展開等利用促進の取り組みにより、5万人台を維持している。 ・遠足など学校行事による公園利用に対して、付加的な環境学習や園内見学などの提案、実施が望まれる。 ・長期的な視点での公園づくりが望まれる。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業により収入が大幅に増加している。
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校対応として体系的な森林環境学習プログラムによる支援を行っている。 ・限られた職員体制の中で、公園の管理運営を効率的に行っている。また、地元住民や団体、ボランティア等との連携も図り、利用者サービスの向上に努めている。 ・トレイルランニング等発展性のある事業を展開することで、これまでにない利用者層の取り込みを図っている。 ・遠足など学校行事による公園利用に対して、付加的な環境学習や園内見学などの提案、実施が望まれる。 ・森林公園としての魅力ある公園づくりが望まれる。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの